



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 148

平成28年(2016)
7月29日

主な内容	6月定例会のあらまし	2
	一般質問	2
	各党派討論の内容	6
	常任委員会の視察報告	8
	議案採決結果	10
	政務活動費の支出内容	10
	議長交際費の支出内容	11
	常任委員会の審査報告	12
	決議	12
	9月定例会予定	12

●北陸新幹線の誘致を推進する事業費など
1億83万円の平成28年度一般会計補正予算を可決

咲き誇る
ひと目10万本の紫陽花

(市内多祢寺 舞鶴自然文化園で撮影)

6 月定例会のあらまし

●平成 28 年 4 月 25 日付けで認定された「日本遺産」の活用を推進する事業費など、平成 28 年度一般会計補正予算を可決

舞鶴市議会 6 月定例会は、6 月 6 日に開会し、29 日までの 24 日間開催しました。初日は市長提案の議題が上程されたほか、議員提案による「平成 28 年熊本地震に係る要望決議」が可決されました。最終日には、市長提案の補正予算・条例・人事など 8 議案についていずれも原案のとおり可決・承認・同意としました。また、議員提案の意見書 2 件は否決しました。(採決結果は 10・11 頁)

平成 28 年 舞鶴市議会 6 月定例会 一般質問

平成 28 年 6 月 15 日、16 日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	杉島 久敏	1 若年性認知症について
			2 学校の安全向上について
			3 外国人観光客等に対する救急言語アプリについて
2	一括	福村 暉史	1 北陸新幹線京都府北部ルートについて
			2 日本遺産について
			3 企業誘致活動の現状について
			4 安岡園について
			5 浸水対策について
			6 雪害対策について
3	一括	高橋 秀策	1 北陸新幹線京都府北部ルートについて
			2 京都舞鶴港における LNG 受入基地について
			3 小中一貫教育について
			4 人工透析施設について
			5 市民病院について
			6 街路灯について
4	一問一答	松岡 茂長	1 医療問題について
			2 原発問題について
			3 災害時要援護者名簿について
5	一問一答	伊田 悦子	1 「平和産業港湾都市」を市是とする本市のまちづくりについて
			2 子育て安心のまちづくりについて
			3 地域を再生させるまちづくりについて
6	一括	西村 正之	1 観光のまちづくりについて
			2 日本遺産について
7	一括	小谷 繁雄	1 消防団の充実と強化について
			2 公共交通の便利なまちづくりについて
			3 子育て支援の充実について
8	一括	鯛 慶一	1 災害発生時の対応について
			2 空き家対策について
9	一括	伊藤 清美	1 舞鶴市における防災能力の向上について
			2 自主防災組織について
			3 避難所運営について
10	一括	田村 優樹	1 消防組織のあり方について
			2 救命率の向上について
			3 小中一貫教育について
11	一問一答	後野 和史	1 北陸新幹線の延伸について
			2 原発から住民のいのち・安全を守る市の役割について
			3 西舞鶴のまちづくりについて
12	一問一答	肝付 隆治	1 日本海側拠点港について
			2 広域防災拠点について
13	一問一答	小杉 悦子	1 災害弱者の避難について
			2 社会保障の財源確保と介護保険について
			3 TPP 協定について
14	一括	谷川 眞司	1 職員の任用について
			2 自治会について
			3 磐手通りの安全確保について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

平成28年6月15日、16日に本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

学校安全認証制度 取得の検討を



公明党議員団
杉島久敏

質問 学校安全コー
ディネーターを中心に
生活・交通・災害安全
の3分野で包括的に目
標や計画を作成し、安
全対策を進めるサーフ
タイプロモーションス
クール制度。本市小・
中学校において認証取
得を検討してはどうか。

答弁 制度発足から
1年半が経過した現在、
全国での認証校はまだ
4校だが、学校での安
全を図る上で、その考
え方や方法などは有効
と捉え、研究する。

多言語対応救急アプリ導入

質問 文化や習慣の
違いによる外国人観光
客の増加に伴う外国人

搬送件数の増加を見越
し、無用のトラブル回
避を期待できる多言語
対応救急アプリの救急
車への導入に対する本
市の考えを問う。

答弁 本年総務省が
実施する「多言語音声
翻訳システムの利活用
実証に係る実施団体」
に本市が選定され、緊
急現場においても使用
可能と伺っており、今
後、活用について十分
検討する考えである。

舞鶴港 LNG 受入基地を



創政クラブ議員団
高橋秀策

質問 舞鶴港におけ
るLNG受入基地に関
する取り組み状況につ
いて尋ねる。

答弁 基地立地や天
然ガスパイプライン整
備の実現は、雇用の創
出やタンカーの港湾利
用の拡大、燃料調達
の利便性向上による工場
立地の優位性など、地

学力日本一を目指す

質問 学力向上を目
指し、実績のある福井
県への教員派遣を行っ
ているほか、2中学校
区をモデル校として小
中一貫教育がスタート

域経済に多大な効果を
生み出す。府とも連携
して取り組んでいく。

日本遺産の 今後の取り組みは



新政クラブ議員団
福村暉史

質問 明治期に鎮守
府が置かれ、新しいま
ちが創られ、海軍とと
もに発展してきた本市
のまちの歴史が日本遺
産に認定された。日本
遺産ブランドを生かし
た取り組みについて、
具体的な内容、今後の
観光戦略を尋ねる。

答弁 旧軍港4市が

日本近代化の躍動を体
感できるまちとして認
定を受けた。舞鶴市長
を会長とする旧軍港市
日本遺産活用推進協議
会を設立。この協議会
が主体となり、4市連
携の事業に取り組む。

質問 安岡地区のJ

安岡地区の浸水対策は

R小浜線より北側の住
宅地において、豪雨の
たびに床上・床下浸水
が発生。また、府道高
浜舞鶴線も冠水し通行
不能となっていた。こ
れらの浸水対策は。

答弁 JR小浜線の
軌道下にある水路の断
面が小さいことから被
害が発生していた。J
R西日本、京都府との
協議が整い、平成30年
度までに工事を完成さ
せる予定である。

舞鶴の高度医療を どうするのか



鶴翔会議員団
松岡茂長

質問 市長は「高度
医療は住民が30分、遅
くとも1時間以内に
(他市に)行けて受診で
きるように」と発言。
これは舞鶴市内で高度
医療を受けることは無
理だ、あきらめよ、時
間をかけてほかの市へ
行くようにという意味
か。市民が望んでいる

のは「市内で一つの病
院へ行けば治療が完結
することだ。遠くへ
足を運べばいいという
市長の考えと、市民の
思いとはかけ離れてい
るのではないか。

答弁 高速道路も充
実し、地域医療は従来
の舞鶴市という地域だ
けではなく、府北部と

高浜原発の再稼働

質問 古い高浜原発

1、2号機にも再稼働
の認可が与えられる見
通しだ。原則40年とい
う原発の寿命が骨抜き
になるのではと懸念さ
れる。市長の考えは。

答弁 40年を超える
運転には、3、4号機
よりも慎重かつ厳しい
確認・審査が必要だ。

したが、その取り組み
状況について尋ねる。
答弁 中学校の教員
が小学校で行う乗り入
れ授業や、6年生が中
学校に出向き授業を受
けるなど小・中学校が
一体となった取り組み
をスタートしている。
また、円滑な推進を図
るため、モデル校区の
コーディネーター役と
して2名の指導主事を
配置するなど積極的な
サポートを行っている。

平成28年6月15日、16日に本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

経済的負担軽減で子育て安心のまちを



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 安心子育ての環境整備の実現は急務。①子どもの貧困実態把握のための調査早急に。②里帰り出産者へも紙おむつ専用袋の無料配布を。③北部で一番遅れた子どもの医療費助成は恥ずかしい。拡充を。以上いかがか。

質問 安心子育ての環境整備の実現は急務。に、実態把握と分析を行う。②市民の長期にわたる負担軽減が目的。③総合的視点から、子育て支援の充実を図る。

が保有するデータを元に、実態把握と分析を行う。②市民の長期にわたる負担軽減が目的。③総合的視点から、子育て支援の充実を図る。

質問 バスなどの公共交通は、子どもから高齢者まで市民生活の足である。高齢者の外出支援および子育て世帯の利用拡大に向けた取り組みについて問う。

境整備に努める。また、「うみべのもり保育所」周辺は、バス停設置について一定の需要がある地域と認識しており、今後とも利用促進に努めていく。

質問 子育て支援は、社会全体で支え、自治体は、必要な人にきちんと支援を届ける必要がある。ひとり親世帯および子育て世帯の支援の充実について問う。

答弁 ひとり親世帯の自立支援を継続し、寄り添い型の支援に努めていく。また、中総合会館に「子ども何でも相談窓口」を開設するとともに、今後SNSの活用についても有効な手段と考え、活用に向け検討していく。

自衛隊舞鶴基地との協力体制は



会派に所属しない議員
西村正之

質問 今回の日本遺産認定は、旧軍港市のストーリーが認定されたもので、「旧海軍鎮守府としての横須賀、呉、佐世保、舞鶴、それぞれが歴史が日本近代化の躍動を体感できるまち」とされたというが、舞鶴においては、現役の自衛隊

施設や自衛艦の公開、音楽隊の演奏会なども含め、自衛隊舞鶴基地に、観光はもとよりまちづくりに大きく貢献いただいている。今後の展開として、自衛隊舞鶴基地との協力体制について本市の所見を問

う。
答弁 自衛隊舞鶴基地との協力体制については、これまでから北吸棧橋や海軍記念館、東郷邸などを一般公開いただいております。引き続き深いご理解とご協力を頂けると考えています。

質問 災害発生時における被災地域での支援行政職員の受け入れについて、過去の事例を見ても受け入れ態勢が整っていないように見受けられる。被災者は発生初期期の支援を必要としており、熊本から国や自治体の職員

が支援のために熊本に派遣されたが、受け入れ態勢が整っておらず、効果的な支援ができていない。本市の大災害時における支援行政職員の受け入れ態勢について問う。

答弁 熊本地震では、本市も緊急消防救助隊などの支援職員の派遣を行った。本市が被災した場合、支援職員の受け入れ拠点施設として文化公園体育館を優先的に考え、状況に応じて他施設の使用も含めた対応も考えている。また被災支援を受ける想定をすれば、受援計画などの必要性は認識しており、受け入れの拠点施設や支援依頼業務の整理などから取り組んで行きたい。



日本遺産認定の懸垂幕

平成28年6月15日、16日に本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

防災能力向上を図る
上での備蓄体制は



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 熊本地震での避難所の食糧難問題を受けた公的備蓄調査の結果、食糧3日分を確保する目標を定めているのは、47都道府県と20政令指定都市のうち、21自治体にとどまることとが判明した。本市の食料や水などの備蓄体制について問う。

答弁 府の定めた考え方に基づき、上林断層による最大避難者数を想定した必要数を自主避難所や各小中学校に備蓄し、また旧軍港4市との相互支援協定により、その体制を構築している。

南海トラフ地震の対応は

質問 今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率を70%以上とする見解が発表された。本市の考えを問う。

答弁 本市は、原子力災害時、広域避難先として他府県にも協力いただく立場であることから、本市においても、リダンダンシー機能を備えるこの府北部地域で避難の受け入れができないか、5市2町で検討していきたい。

被ばくを前提にした
原発住民避難計画



日本共産党議員団
後野 和史

質問 原子力規制委員会とは、放射性プルームの浮遊と沈着に分けて屋内退避の効果を示したが、なぜ低い方を説明したのか。避難計画の屋内退避は被ばくするがやむを得ないと考えるのか。安定ヨウ素剤をUPZ圏内に事前配布しないのはなぜ

答弁 屋内退避は内部被ばくへの効果が重要、沈着時の数値を説明した国指針でPAZが事前配布とされ、誤飲による副作用への国の責任が明確でないこと。緊急時は薬剤師や市職員が簡易な問診な

ども検討中で、関係機関と調整している。
事前配布を判断せよ

質問 安定ヨウ素剤の誤飲の副作用に、国が責任持たないから市も同様に事前配布しないでは、市民は納得しない。市民の安全に責任を持つ市として事前配布を判断せよ。
答弁 誤飲による副作用に対する国の責任の明確化を求めている。

AED講習受講
義務を問う



鶴翔会議員団
田村 優樹

質問 AEDは、たまたま現場に居合わせた一般市民が特別な講習を受けずに使用できる一種の特例がある。一方で、あらかじめAEDを使うかもしれないと想定される立場、使用責任がある一定頻度者といわれる者は、一般よりも質の高い操

作に関する講習を受けておく必要、受講義務があると厚生労働省の通達にある。市が管理するAED設置場所の職員は受講義務を果たしているのかを問う。
答弁 救急講習の対象者は、自治会、自主防災組織、教職員、福祉施設などである。A



質の高いAED講習

E Dの設置施設における受講者の配置については、設置が義務化されておらず現在把握していない。講習の必要性については設置者の判断によるものであり、要請により実施する。

拠点港としての今後の
取り組みは



創政クラブ議員団
肝付 隆治

質問 京都舞鶴港は平成23年に日本海側拠点港に選定以後日本海側の国際物流・人流拠点としての港湾振興が図られ、昨今では海の京都としてだけではなく関西の巨大都市圏域の一翼を担う日本海側のゲートウェイとして期待されているが今後

の方針を問う。
答弁 日本海側拠点港に選定以降市長自らトップセールスを行うなど積極的に取り組んだ結果、取扱コンテナ量が2.5倍に、外航クルーズ船においては過去最高の17回の寄港になるなど着実に成果を上げている。今後は

関西圏のゲートウェイとしてさらなる集貨、創貨に努めるとともに、国においては2020年にクルーズ訪日客500万人を目標としており、海外臨船審査や船舶観光上陸許可制度など入国審査手続きの円滑化や埠頭での審査体制の改善について要望していきたい。

平成28年6月15日、16日に本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

個別計画の充実で 災害弱者の支援強化を



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 国の指針では、避難行動要支援者の対象を療育手帳B、精神障害者手帳2級などへ対象の範囲を広げる必要がある。また昼間と夜間で支援内容が変わるのではないかと。また、支援にあたっては、障害者の特性など個々の状況

答弁 避難行動の支援に必要なのは、障害者の特性など個々の状況を踏まえて、利用者の重度化を最大限防

介護専門職の配置を

質問 来月4月からの新総合事業で、利用者の重度化を最大限防

や、昼夜の別など災害発生時の状況に応じた支援が必要であり、状況に応じた支援が可能になるよう個別支援計画を充実させたい。



災害弱者の安全は全市民の安全に

ぐため、介護専門職の関与が欠くことができないと考えるがどうか。

答弁 市の保健師、管理栄養士および歯科衛生士などの専門職による指導や助言を行っていききたい。

自治会組織への 振興策を



創政クラブ議員団
谷川眞司

質問 独り暮らしの高齢者世帯が増える中、また、自治会未加入世帯が増えている中、自治会の活性化のための振興策が必要と思うが、市の考えを問う。

答弁 本年度、多様な地域づくりの主体と協力してまちづくりを進める「地域づくり支

援課」を設置した。今後は、自治会加入対策や、自治会長が地域のリーダーとして活躍できるようにサポートするなど、地域特性に応じた支援を実施していく。

警手通りの安全確保を

質問 旧市民病院西側に位置する警手通り

は、南側の白糸中学校へ通じる道路と比べ、道路幅も狭いことから旧市民病院の跡地利用計画とあわせて、市民の安全な歩行空間の確保が必要と考えるが、市の考えを問う。

答弁 旧市民病院西側の警手通りについては、歩道がないため、旧市民病院敷地を有効利用して、市民の安全な歩行空間の確保に努めていきたい。

論 討

6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

議会の監視弱める 北部都市圏協議会



日本共産党議員団
後野和史

28年度一般会計補正予算案のまち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業は、北部連携都市圏が北部地域を一つの生活圏とする方向で観光、教育、産業、交通などの事業を進めるために協議会を設置、5市2町が職員を派遣し、負担金を出す、会長職の舞鶴市が事務局を持つというもの。

やがては政令市の行政区のような位置づけで連携を強め、事業を拡大していく恐れがあり、反対する。

市税条例の一部改正は、スイッチOTC薬控除の創設は、医師の判断ではなく、自己判断での市販薬服用に誘導し、薬の間違った服用で病気の重篤化につながる。望ましい医療から市民を遠ざける危険性のある制度になる恐れがあり、これまでの医療費控除10万円を拡充して対応すればよく、条例改正には反対する。



スイッチOTC薬、重篤化の恐れも



協議会は特別地方公共団体ではなく、予算も決算も議会は全体が審議できず、議会の関与、監視・チェック機能を薄めることは問題だ。

6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論

北陸新幹線京都府北部ルート実現を



創政クラブ議員団
高橋 秀策

全議案に賛成する。

①日本海側国土軸②大規模災害時におけるバックアップ機能③地方創生・均衡ある発展・国土強靱化のためにも、北部ルートの実現が望まれる。新幹線は都市と都市を短時間で結びつけることから、京都まで約20分で行けるようになれば、京都、大阪とも一体的に発展していく。

地元負担について、敦賀市の場合、負担区域の工事費は総額320億円である。あくまでも推測であるが、敦賀市負担金9億円、一般財源9千万円、地方債8億1千万円として

交付税措置50%で約4億円、実質負担金約5億円で、40年償還すると、1年あたり1250万円となる見通しであり、大きな負担にはならないことなどから、この取り組みを高く評価する。

信頼される市民病院

繰入金も着実に減少し、公的病院や介護施設とも連携を図り、市民の皆様にも求められる病院として満床に近い患者を受け入れ、存在価値のある病院として運営されていることを評価する。



北陸新幹線

本市の将来を見据えた事業計画を評価



新政クラブ議員団
水嶋 一明

補正予算額6億8201万円は「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」を推進する予算で、本市の将来を見据えた事業が計画されており、高く評価する。

日本遺産に認定された「旧軍港4市、横須賀、呉、佐世保、舞鶴のストーリー」の魅力を国内外に発信し、観光振興、交流人口増大に努めていただきたい。また、7月から中筋小学校などで放課後児童クラブを開設す



観光の拠点「赤れんがパーク」

る施設整備予算465万8千円の計上は、放課後や夏休みなどの児童の居場所確保につながり、高く評価する。

北陸新幹線京都府北部ルート実現のため、要望活動や誘致活動を行政、議会、商工団体など官民一体となり、市を挙げて実現に向けた取り組みを展開されている。日本海側国土軸の形成、関西経済圏に果たす役割は大きく、誘致の成否が今後の本市の発展に大きく影響する。

実現に向けた取り組みをお願いして全議案に賛成する。

新幹線京都府北部ルートは官民一体で



鶴翔会議員団
亀井 敏郎

全議案に賛成し討論する。

北陸新幹線京都府北部ルートの実現に向け京都府北部5市2町による京都府北部ルート誘致促進同盟会の国への要望活動や、市議会による市民団体との意見交換会の開催など、積極的に誘致活動を展開しているとのことである。また、時間を同じくして急浮上したのが山陰新幹線の整備実現の動きである。

この2ルートが実現すれば、舞鶴市はその分岐点となることが想定され、振興発展に大

きく寄与する千載一遇の機会と考える。今こそ、行政、議会と市民が一体となり、京都府北部ルートの実現に向け総力を挙げ誘致活動を展開すべきと考える。

更に充実を休日急病診療所

昨年10月に開設された休日急病診療所が6月より月3回に拡充されることになった。しかしながら、中丹地域医療再生計画修正案で示された内容には程遠く、今後早急に夜間診療所を含む整備拡充を強く望むものである。



京都府北部ルートの実現を

6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

北部圏域での リーダーシップ発揮を



公明党議員団
上羽 和幸

平成27年度一般会計補正予算は交付金の確定で市債を約6億7千万円減額。歳入で4つの交付金が増額になったのは自公政権の経済政策の効果である。

平成28年度一般会計補正予算のまち・ひと・しごと創生推進事業

は、北部圏域で公共施設の相互利用や交通ネットワークの整備、企業間取引の情報提供など、圏域でリーダーシップを発揮し、実現に努力いただきたい。

北陸新幹線誘致推進は、誘致実現のため魅力や実現性、重要性を一人でも多く



リーダーシップの発揮を期待

の市民に浸透させていただきたい。
障害者の働く環境を応援する事業、保育所の事故防止を目的とした事業、また定員超過で新たな放課後児童クラブの整備を評価する。休日急病診療所は開設日を月3回に増加できたことを評価する。今後は毎週日曜日の開設に努力をお願いする。乳幼児教育ビジョンは、国の評価で委託事業とされ、事業が拡大されたことを評価し、6月定例会に上程された議案に賛成する。

常任委員会の視察報告

舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しましたので、その概要を報告します。

総務文教委員会 (平成 28 年 5 月 9 日(月)～ 11 日(水))

・視察先および調査項目

- ①愛知県豊田市
自主運行バス(高岡ふれあいバス)の取り組みについて
- ②千葉県鴨川市
小中一貫教育の取り組みについて(施設一体型)
- ③埼玉県入間市
小中一貫教育の取り組みについて(施設分離型)

民生環境委員会 (平成 28 年 5 月 9 日(月)～ 11 日(水))

・視察先および調査項目

- ①東京都港区内 おとなの学校南青山校
おとなの学校の取り組みについて
- ②神奈川県
介護ロボット普及推進センターの取り組みについて
- ③神奈川県横浜市 特別養護老人ホーム芙蓉苑
介護ロボットの活用について
- ④埼玉県和光市
介護予防事業の取り組みについて

経済消防委員会 (平成 28 年 5 月 16 日(月)～ 18 日(水))

・視察先および調査項目

- ①群馬県渋川市
中心市街地・商店街の支援制度について
- ②新潟県新発田市
中心市街地活性化事業奨励支援事業について
- ③山形県酒田市
酒田港の振興について

建設委員会 (平成 28 年 5 月 16 日(月)～ 18 日(水))

・視察先および調査項目

- ①愛知県東海市
浸水対策について
- ②静岡県沼津市
浸水対策について
- ③富山県富山市
コンパクトシティ戦略による都市計画について

総務文教委員会

自主運行バスおよび 小中一貫教育を視察

豊田市においては、民間バス路線の撤退により、地域住民のほか運行業者と行政の三者一体で自主運行されているが、本市では地域住民が主体となり、バスの運行・維持管理を行っており、本市地域住民の意識の高さを実感した。

また、本市において、教育大綱に基づき、義務教育9年間を見通した「小中一貫教育」を本年度、城北・加佐中学校の2校をモデル校に指定し、平成30年度完全実施に向けてスタートしたのを受け、既存の中学校内に新たな棟を建設し、施設一体型で取り組まれている鴨川市の長狭学園と保幼小の連携強化を図り、乗り入れ事業をして施設分離型で取り組まれている入間市を視察。

舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しましたので、その概要を報告します。

常任委員会の視察報告

施設一体型では、教員の意思疎通が容易にできるが、施設に一定の条件が必要であり、施設分離型では、小中の区切りや乗り入れ授業をすることで、不登校や中1ギャップの解消になるが、教員交流の充実やサポーターの人材確保が課題である。



入間市での委員長のあいさつ

民生環境委員会

おとなの学校

東京都港区の「おとなの学校」は、高齢者が学校の昔懐かしさを五感で感じられる作りとなっている。この中で、国語や算数をはじめ

め「授業」という形で機能訓練や脳リハビリのサービスを提供。学びの意欲につながる先生や仲間の励ましの中に、高齢者が諦めずに取り組む姿が見られた。

介護ロボットの普及推進

急速な高齢化の進展に伴い、介護現場の負担軽減と高齢者の自立支援のため、介護ロボットの介護施設などへの導入を推進する必要があることから、神奈川県では、「介護ロボット普及推進センター」を設置し積極的な取り組みを実施されている。



進化する介護ロボット

介護予防事業

和光市では、高齢者が元気で安心して暮らしていけるよう、高齢化社会のピークポイントとなる2025年（平成37年）に対応するため、基本目標、基本方針を設定。これらの実現のための徹底したニーズ調査に取り組みむことで、要介護（支援）認定率や保険料が安定したものとなっている。

経済消防委員会

中心市街地・商店街の活性化などを視察

渋川市では、10年間を目標期間と定めた「渋川市中心市街地活性化プラン」を作成し、「渋川市まちなか空き店舗出店者支援事業補助金助成」事業を実施した。現在、中心市街地で店舗の閉店により買い物難民が生まれる状況となっており、新規事業として28年度か

ら、現在営業している店舗に対する「店舗改修補助事業」を検討している。



商店街を視察

がりサイクル関連企業9社、エネルギー関連企業5社が新たに立地。平成23年11月、日本海側拠点港にリサイクル貨物で選定されている。

建設委員会

浸水対策と都市計画について視察を実施

東海市と沼津市では、浸水対策について視察した。東海市においては、調整池建設現場も視察。過去の浸水被害の要因を分析し、河川整備や下水道整備に取り組んだが、予算面で事業が遅れたため、国の「100ミリ安心プラン」に登録申請し認可が下りたので浸水対策プランを策定したと説明を受ける。

沼津市では、近年の急速な市街地拡大により、遊水・保水機能が低下し、集中豪雨などによる浸水被害が発生しているとのこと。平地の勾配も複雑に絡み、



工事中の調整池建設現場

次に、新発田市では、平成26年3月「新発田市中心市街地活性化基本計画」を策定するとともに「新発田市中心市街地活性化推進条例」を策定した。駅前や中心部に県立病院や新庁舎を建設するなど主要公共施設を中心市街地に集約し、人が集まるよう考えている。酒田市では、酒田港が平成15年にリサイクルポートに指定された。7社であった立地企業

河川改修だけでは被害の解消が困難であることから、国の「100ミリ安心プラン」に登録申請し事業に取り組んだとの説明を受けた。

富山市では、コンパクトシティ戦略による都市計画について説明を受ける。鉄軌道を中心とする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化などの都市機能を集めさせるまちづくりに取り組まれている。

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6月6日

☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

平成 27 年度 政務活動費の支出内容をお知らせします。

政務活動費は、議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として、議員 1 人当たり年額 26 万円を議会会派に対し交付されます。

なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。

【各会派政務活動費 収支報告書一覧表 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日分)】 (単位:円)

会派名	収入		支出							支出合計	差引不用額	
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請陳情活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費			事務費
創政クラブ議員団	2,080,000	0	1,386,210	0	0	339,621	190,242	0	0	82,696	1,998,769	81,231
主な支出の内容：視察旅費 (八潮市、北九州市、佐世保市など)、要請陳情旅費 (国土交通省、海上保安庁) など												
新政クラブ議員団 ※ H27.11.11 から 2 名加入	1,756,000	18,646	960,169	0	594,367	0	127,744	0	0	92,366	1,774,646	0
主な支出の内容：視察旅費 (小山市、栃木市、紫波町など)、会派広報費 (印刷、折込料) など												
公明党議員団	1,040,000	0	558,090	81,428	0	0	16,200	0	0	319,735	975,453	64,547
主な支出の内容：視察旅費 (越前市、町田市、半田市など)、研修旅費 (全国市町村国際文化研修所) など												
日本共産党議員団	1,040,000	0	4,340	32,200	729,461	0	115,256	0	0	51,756	933,013	106,987
主な支出の内容：会派広報費 (印刷、折込料) など												
鶴翔会議員団 ※ H28.2.12 から H28.3.31 まで	102,102	0	0	0	0	0	0	0	0	29,291	29,291	72,811
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など												
会派に所属しない議員 ※ H27.5.18 から H28.3.31 まで	219,483	0	72,142	0	0	0	0	0	0	15,596	87,738	131,745
主な支出の内容：視察旅費 (東京都足立区、国立市、調布市、白山市) など												
<年度途中で解散となった会派>												
輝進クラブ議員団 ※ H27.4.1 から H27.5.17 まで	780,000	0	0	0	0	0	3,270	0	0	5,207	8,477	771,523
主な支出の内容：コピー代、通信料など												
会派に所属しない議員 ※ H27.5.18 から H27.11.10 まで	219,483	10,155	113,780	0	0	0	0	0	0	17,858	131,638	98,000
主な支出の内容：視察旅費 (網走市、札幌市、小樽市) など												
会派に所属しない議員 ※ H27.5.18 から H27.11.10 まで	219,483	19,905	114,660	0	0	0	0	0	0	26,728	141,388	98,000
主な支出の内容：視察旅費 (網走市、札幌市、小樽市) など												
鶴翔会議員団 ※ H27.4.1 から H28.1.31 まで	780,000	0	319,320	0	0	0	9,024	0	0	54,293	382,637	397,363
主な支出の内容：視察旅費 (仙台市、十日町市、富山市) など												

議案の採決結果

(平成 28 年 6 月定例会)

会期：6月6日～6月29日

議員名簿等 (会派内は五十音順)		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号))	28	27	27	0	0	承	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○
	平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第1号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成28年度舞鶴市病院事業会計補正予算(第1号)	28	27	27	0	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	28	27	27	0	0	可	○	○	○		○	○
	指定管理者の指定について(舞鶴市勤労者福祉センター)	28	27	27	0	0	可	○	○	○		○	○
	工事請負契約について(旧市立舞鶴市民病院(本館棟他)除却工事)	28	27	27	0	0	可	○	○	○		○	○
	教育委員会委員の任命について	28	27	27	0	0	同	○	○	○		○	○
議員提出議案	国の制度としての子どもの医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティーをやめることを求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×		×	×
	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書(案)	28	27	7	20	0	否	×	×	×		×	×
	平成28年熊本地震に係る要望決議(案)	28	27	27	0	0	可	○	○	○		○	○

創政…創政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、鶴翔…鶴翔会議員団、無会派…会派に所属しない議員

表彰

去る5月31日、東京国際フォーラムで開催の全国市議会議長会総会において、次の議員が在職25年以上表彰を受賞しました。

○在職25年以上 高橋秀策議員

平成 27 年度 議長交際費の支出内容をお知らせします。

詳細は舞鶴市議会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

ホームページ：http://www.city.maizuru.kyoto.jp/sigikai/

単位(上段：件、下段：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	8	5	3	3	3	4	4	6	8	3	3	58
金額	58,160	45,440	38,552	17,240	35,100	8,000	29,000	16,000	40,248	56,928	15,330	26,016	386,014

会費	4	2	3	1	1	1	2	2	4	4	0	0	24
	24,000	6,000	18,000	10,000	5,000	2,000	21,000	8,000	18,000	20,500	0	0	132,500
祝儀	0	4	1	0	0	2	0	1	0	2	0	2	12
	0	20,000	5,000	0	0	6,000	0	5,000	0	21,740	0	15,000	72,740
弔慰	1	0	0	0	1	0	1	1	2	1	1	1	9
	5,000	0	0	0	7,000	0	5,000	3,000	22,248	11,448	5,000	11,016	69,712
その他	3	2	1	2	1	0	1	0	0	1	2	0	13
	29,160	19,440	15,552	7,240	23,100	0	3,000	0	0	3,240	10,330	0	111,062

常任委員会の審査報告 決議・9月定例会の予定

本会議において付託された議案は、予算決算委員会3件、経済消防委員会1件、総務文教委員会3件であり、それぞれの委員会で審査しました。

予算決算委員会

一般会計補正予算など3件を可決

平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第1号)では、質疑において、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業は、京都府北部地域をひとつの圏域と捉え、

高度な医療機関や教育機関などで圏域内の連携を強化するため、総務省の委託事業を活用するものであるなどの答弁がありました。

討論では、反対の立場から、この事業の中心となる京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会は、特別地方公共団体などではないことから、議会は予算・決算全体の審議ができず、議会の関与、監視・チェック機能などが薄められることは問題であるなどの意見。賛成の立場からは、この事業は、京都府北部地域連携都市圏を

経済消防委員会

舞鶴市勤労者福祉センターの指定管理者を指定

旧市民病院南棟2階に移転した「舞鶴市勤労者福祉センター」の指定管理について、一般財団法人舞鶴勤労者福祉センター協議会を指定すること。また、

選定にあたっては、指定管理者選定委員会において、書類審査及びプレゼンテーションなどを経て総合的に評価されたものであり、その指定期間は平成28年7月1日から平成31年3月31日までとするなどの説明がありました。

質疑において、指定管理の対象となる建物は、平成28年4月1日

総務文教委員会

市税条例等の一部を改正

舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定は、地方税法の改正に伴い、納税者が法人市民税などを納付期限内に納付した後、その申告に係る税額が過大であるとして減額更正し、再度当初の課税額に満たない増額更正を行った場合は、その差額に係る延滞金は発生しないこと。

平成29年1月1日から平成33年12月31日までの間に、個人がスイッチOTC薬を購入した費用のうち、年間10万円を限度として1万2千円を超える額を所得控除する特例が創設されたこと。

再生可能エネルギー発電設備などの固定資産税の課税標準に對して、特例措置を講ずるなど所要の改正を行うものであるとの説明がありました。



質疑において、今回の特例により、少額の医薬品購入でも所得控除の対象となるほか、医師の処方箋が不要なことから、利用しやすい制度となっているなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、スイッチOTC薬控除の創設については、自己の判断による薬の誤った服用につながる懸念もあることから、これまでの医療費控除制度の拡充により対応すべきとの意見がありました。

決議

6月定例会において決議1件を可決しました。

可決した決議(概要)
▽平成28年熊本地震に係る要望決議

舞鶴市議会として今後の支援活動に注視し、被災地に向けてできるだけ限りの支援に努めるとともに、被災地全体の一日も早い復旧・復興を願い、次のとおり強く要望する。

記

1 政府においては、十分な財政支援措置を行うなど、迅速な被災者支援並びに被災地の復旧・復興支援を一層推進されるよう要望する。

2 舞鶴市当局においては、国・府等と協力して、でき得る限りの被災者支援並びに復旧・復興支援に努められるよう要望する。

9月 定例会予定

- 8月
 - 30日(火) 本会議(開会)
 - 9月
 - 5日(月) 請願受理締め
 - 8日(木) 本会議(代表質問)
 - 9日(金) 本会議(一般質問)
 - 12日(月) 本会議(一般質問、質疑)
 - 16日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 20日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 21日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 23日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 29日(木) 予算決算委員会
 - 10月
 - 6日(木) 本会議(閉会)
- ※予定は変更することがあります。